

今月のテーマ

お便り  
コーナー

受験



2月、3月は受験シーズンです。受験は富士市の高校進学率(91.8%)が示すように、大部分の人が一度は経験するものです。受験生はもとより、家族もこの時期は落ちつきません。今回は、「受験」というテーマで、体験談、勉強法などのお便りをいただきました。

気力だけの世界

望月 利幸さん  
静大2年 久沢西(20歳)



高校、大学と2度の受験を経験し、部活との両立、進路の迷いなどいろいろなことが思い出として残ってい

ます。苦しい思い出の多い中で、ささやかな楽しみとして忘れられないのが、受験勉強中の夜鳴きそばの味です。

「なぜこんなに苦勞しなくては」とか「入学したら、ああしてこうして」と思いをめぐらせながら道を歩き、5分程でたどりつく店での熱いラーメンの味は格別でした。

たかがラーメンですが、僕にとっては深夜勉強の意欲を与えるばかりでなく、1時間後の確実な睡眠を約束するものでした。

「ラーメンを食べなければもう少し勉強できたかな」と翌朝のたび重なる後悔にもかかわらず連日通ったあの日々…。

そして、今も店がわりすることなく湯けむりを出すどんぶりの向こうに、懐かしい「気力」だけの世界がちらほらと見え隠れするのです。

テーマ

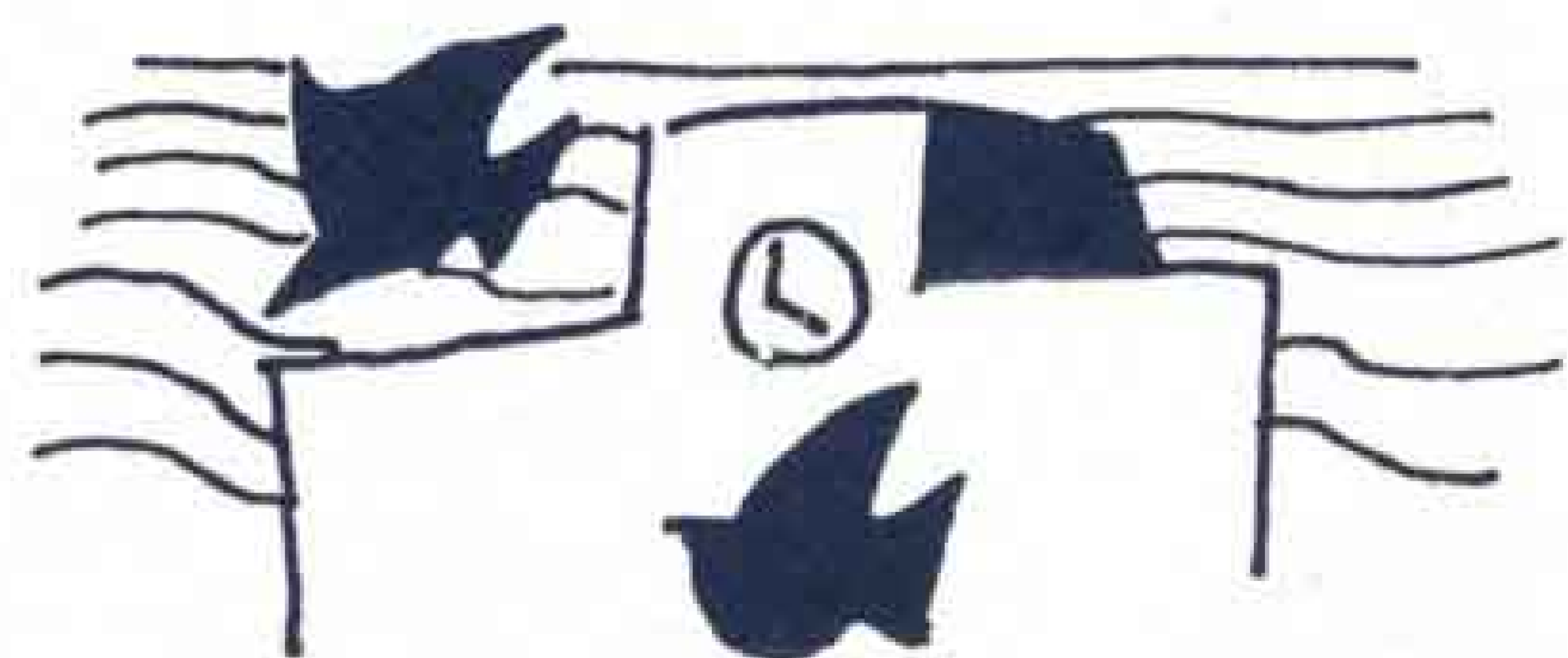
■3月は「卒業式」

我が子の成長を見るのはうれしいもので、卒業式ほど子供の成長を感じるときはありません。

小・中学校や高校・大学などによって卒業式の雰囲気も違いますが、先生や友との別れ、新たな世界へ旅立つ期待と不安などは変わりません。

卒業式の思い出やあなたが感動したことなどをお気軽にお寄せください。

※皆様よりたくさんのお便りをいただいたこのコーナーも、3月で終わらせていただきます。4月から新しい企画でおじゃまします。



あなたのお便りを  
お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などをどしどしお寄せください。

お便りをお待ちしています。

◇応募される人は 原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇送り先は 〒417 市内永田町1丁目100番地 市役所広報広聴課  
原稿締切日は、毎月20日です。



## 自主性と計画性を尊重

保科 翠さん  
事務員 瀬戸河原(43歳)



我が家では昨年、一昨年と長男・次男の受験が相次ぎ、今年は一息ついているところです。

日ごろから「勉強は長い時間やればいいというものではない。自主的に集中力を持ってするものだ」と考えていた私は、二人の子供の自主性

と計画性を尊重してきました。

現在、早稲田大学に進学した長男は、細かな学習計画を立て勉強しました。長男が小1のとき何でも私に頼り過ぎると感じた私は、酷なようですが一人で勉強するようしむけました。

今にして思えば、そのときから自主性と計画性がついたと思います。

また、そうはいつでも人間ですから、計画どおり進まないこともありましたが、そんなとき、親とすれば不安ですが、小言を言うより夫や祖母ともども励ますようにしました。

## 知識は目と耳から

内海 繁雄さん  
自営業 広見西本町(73歳)

私は幼いころ勉強嫌いだった。祖父に勉強の仕方を仕込まれ、やっと普通になったと思う。

それは、知識は目と耳より入り脳に蓄積されるもので、鼻やおへそより入るものではなく、また、手で書



くことは身体で覚えることだということ。

したがって、知識は声を出して読むことから目と耳より脳に入り、それを書くことにより、すなわち三位一体となる。

1冊の本を丸暗記することは難しい。だれでも試験のときは山をかけるものだ。その山を合併読み(声を出して読み、目と耳で理解する)し、何回も書くことだ。

ふだんそのように勉強すれば、試験で山が必ず当たる。

昨年十月に行われた国勢調査は、皆さんの記憶に新しいと思いますが、市ではほかにも工業統計調査や住宅統計など多くの統計調査を国や県の委任を受けて行っています。齊藤さんはその調査員を続けること十七年。「富士市丸」いや「日本丸」の行方を定める統計の担い手として地道にがんばってきました。



ほどになりました。

長く続けられた秘訣は、「おこつちやだめ」。対象者に気持ちよく記入してもらおうよう心がけてきたといえます。豊かな表情からは練れた人間性がうかがえました。昭和二十一年に空襲の東京から来富。詩吟・民謡・編み物を習う、三人の孫のおばあちゃんでもあります。

まだふなれなころ、対象者を訪問しても説明できず困ってしまうことがありました。今では毎年十二月三十一日現在で実施する工業統計調査の用紙を配ると、「おばさんが来ると、もうすぐお正月ね」といわれる



第36回静岡県統計大会で全国統計協会連合会長表彰を受彰

さいとうともえ  
齊藤友枝さん  
吉原上中町(65歳)